

科目名		身体障害治療学実習Ⅱ			授業の種類	実習	講師名		
授業回数	23回	時間数	45時間	(1単位)	配当学年・時期	作業療法士科3年	後期	必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕									
身体機能作業療法の対象疾患について学び、疾患特有の評価法と治療方法、作業療法の特性を生かした治療・指導・援助の方法を学習する。									
〔授業全体の内容の概要〕									
適切な作業療法評価・治療を行うための方法について、実践事例を通して学習する。									
〔講師の実務経験〕									
「2004年4月～2018年3月末まで急性期（集中治療室）から維持期（在宅支援）のリハビリテーションを提供する病院に所属する。									
主な業務は身体障害および高次脳機能障害に対するリハビリテーションを実施していた。また対象分野に関する症例および学会発表									
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕									
身体作業療法の主たる対象疾患についての治療・指導・援助内容を理解できる。									
回数	講義内容								
1	身体障害の作業療法の基礎（リスク管理を含めて）								
2	身体障害の作業療法の枠組み								
3	身体障害作業療法治療学実践 関節可動域訓練								
4	身体機能作業療法の実践 脳血管障害①								
5	身体機能作業療法の実践 脳血管障害②								
6	身体機能作業療法の実践 脳外傷								
7	身体機能作業療法の実践 不随意運動								
8	身体機能作業療法の実践 筋緊張異常								
9	身体機能作業療法の実践 協調運動障害								
10	身体機能作業療法の実践 物理療法と浮腫の基礎								
11	身体機能作業療法の実践事例 神経変性疾患および神経筋疾患								
12	身体機能作業療法 治療（ニューロリハビリテーションを含め）・作業療法の実際								
13	身体機能作業療法 治療 CI療法								
14	身体機能作業療法の実践 呼吸器疾患（吸引について）								
15	身体機能作業療法の実践 循環器疾患								
16	身体機能作業療法の実践事例 骨・関節疾患①								
17	身体機能作業療法の実践事例 骨・関節疾患②（末梢神経障害）								
18	身体機能作業療法 治療 脊髄損傷								
19	身体機能作業療法 治療 脊髄損傷								
20	身体機能作業療法の実践事例 切断のリハ								
21	身体機能作業療法の実践 廃用症候群・ポジショニングとシーティング								
22	身体機能作業療法の実践 関節リウマチ・ターミナルケア								
23	身体機能作業療法の実践 手の外科・装具療法・まとめ								
	定期試験								

【 準備学習・時間外学習 】

--

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
作業療法学ゴールド・マスター・テキスト身体障害作業療法学 改定第2版		メジカルビュー
図解作業療法技術ガイド-根拠と臨床経験いもとづいた効果的な実践のすべて		文光堂
標準作業療法学 身体機能作業療法学	岩崎テル子	医学書院

【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

小テスト・定期試験の結果を合わせてテスト点数の評価を行う。レポート課題提出を合わせて評価を行う。
--